

メールのやりとりは誰が管理？ MXレコードの現状を調査

投稿日 2024年8月20日

現代のコミュニケーションにおいて、電子メールは非常に重要な役割を果たしています。2023年には世界で **3,473億通**

のメールが送受信されました。それぞれのメールを意図した宛先に届けるため、DNSではMail Exchanger (MX) レコードによってメール転送先のメールサーバーを指定しています。

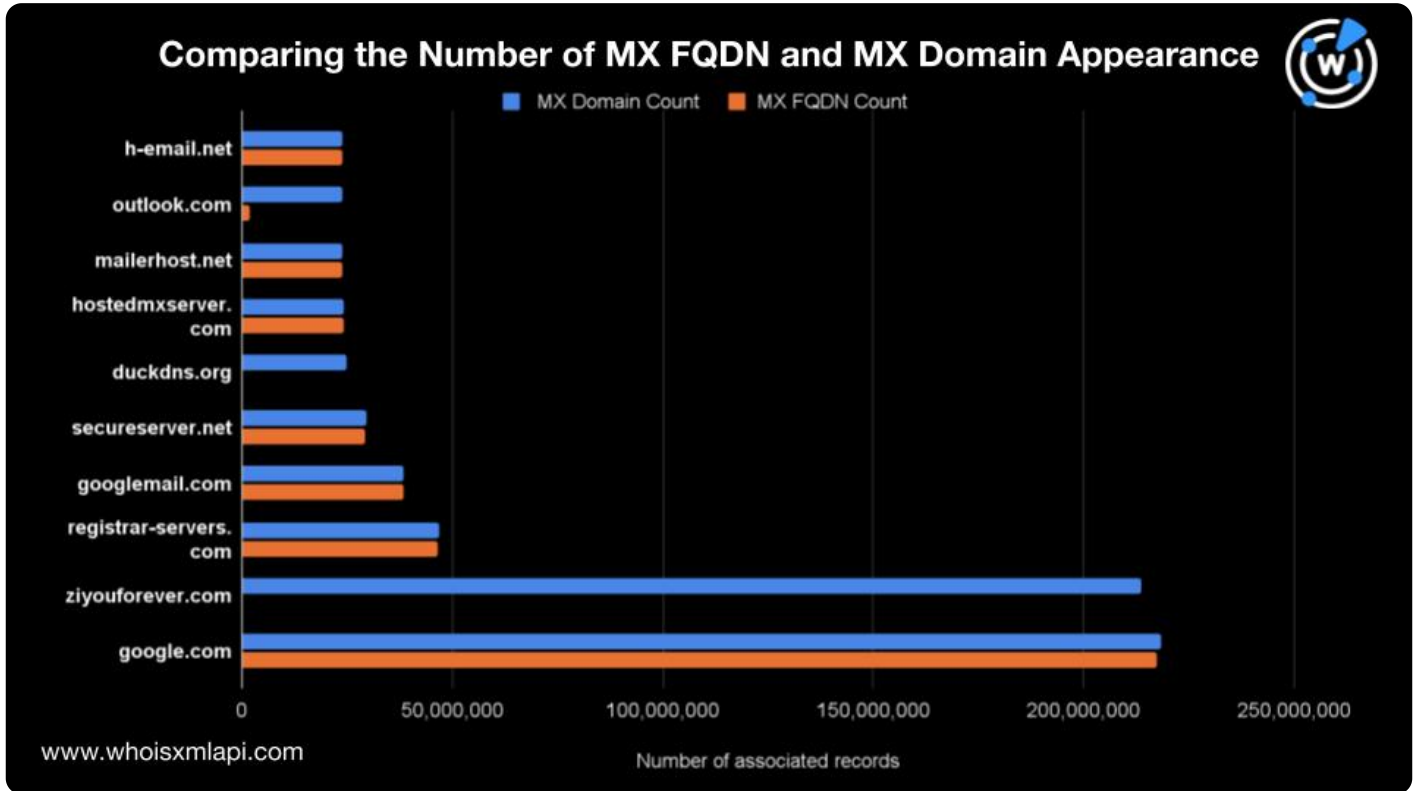
メールサーバーはユーザーが独自に作成することもできますが、ほとんどの人は、複雑なサーバー運用を
ただ、メールサーバーを管理するESPの数が限られていることから、集中化を懸念する専門家もいます。
警告しています。

この記事では、MXレコードの現状について、主にメールサーバーを管理している組織の数と地理的分布について

当社の研究チームは、2024年5月2日時点の **パッシブDNSデータベース**
ファイルに収録されていたMXレコードから、転送先メールサーバーのホスト名として最も多く指定された

ルートドメインとFQDNの利用状況の違い

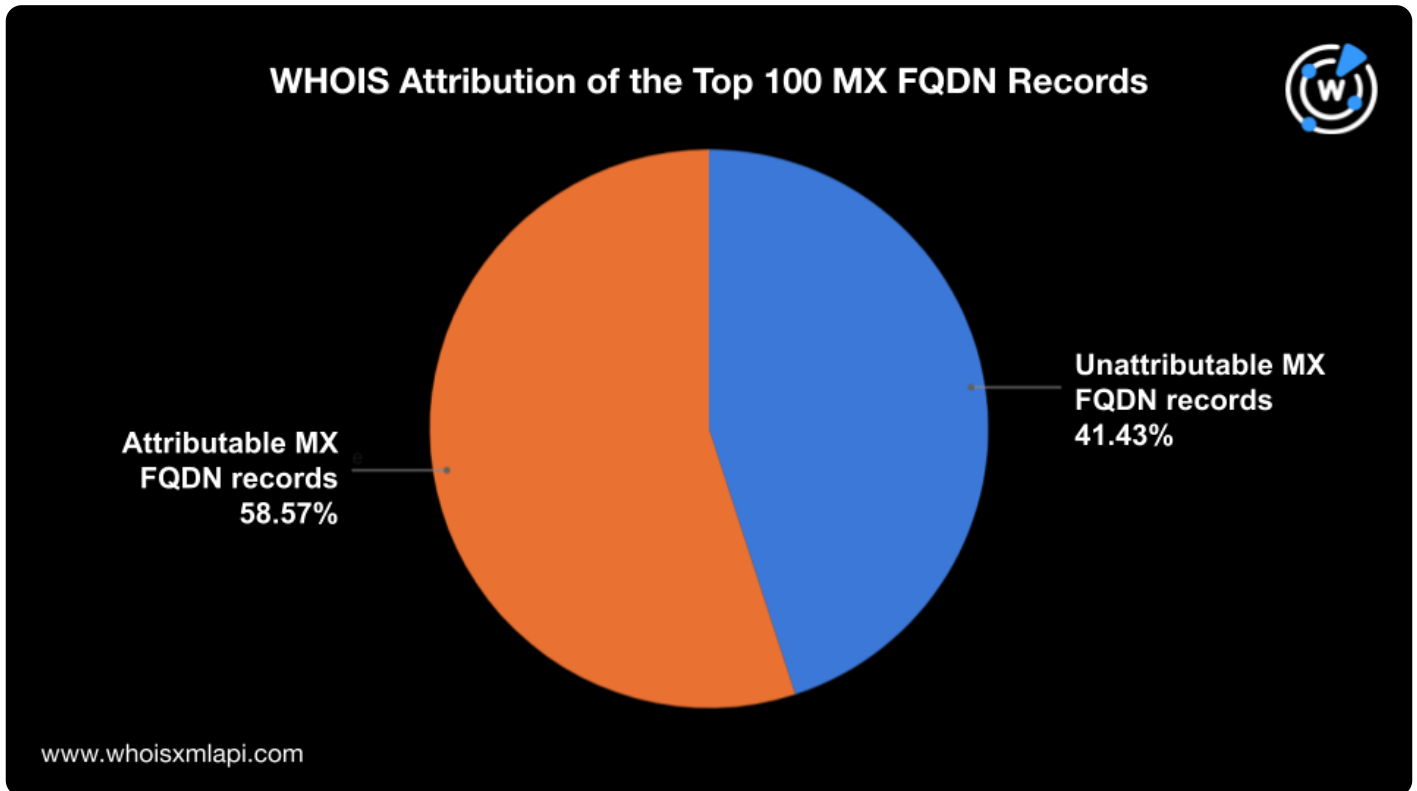
上位100のFQDNと上位100のルートドメインが当社のパッシブDNSデータベースファイルに見られた数を



これは、カスタムMXサーバーサービスを提供するホスティングプロバイダーの存在を示唆しているのかもしれませんが、MXに2番目に多く見られたziyouforever[.]comというドメイン名では事情が異なります。このドメインネットワークの一部かもしれない、と過去に報道されたことがあります。

トップ100 MXレコードの32%はプライバシー保護ドメイン

WHOISで調べたところ、MXで上位100に入るFQDNの登録者組織の情報から、25のユニークなドメイン名



また、MXレコードのルートドメインのトップ100を調べたところ、その約55.6%は特定の組織への帰属を

Googleが上位100のMXレコードの約50%を管理

帰属先が特定できた3億6,900万件超のFQDNは、17のESPによって管理されていました。つまり、1プロ

ただ、実際はGoogle LLCが2億5,580万件超（40.55%）を1社で管理していました。また、トップ10に入るFQDNのうち5件がG

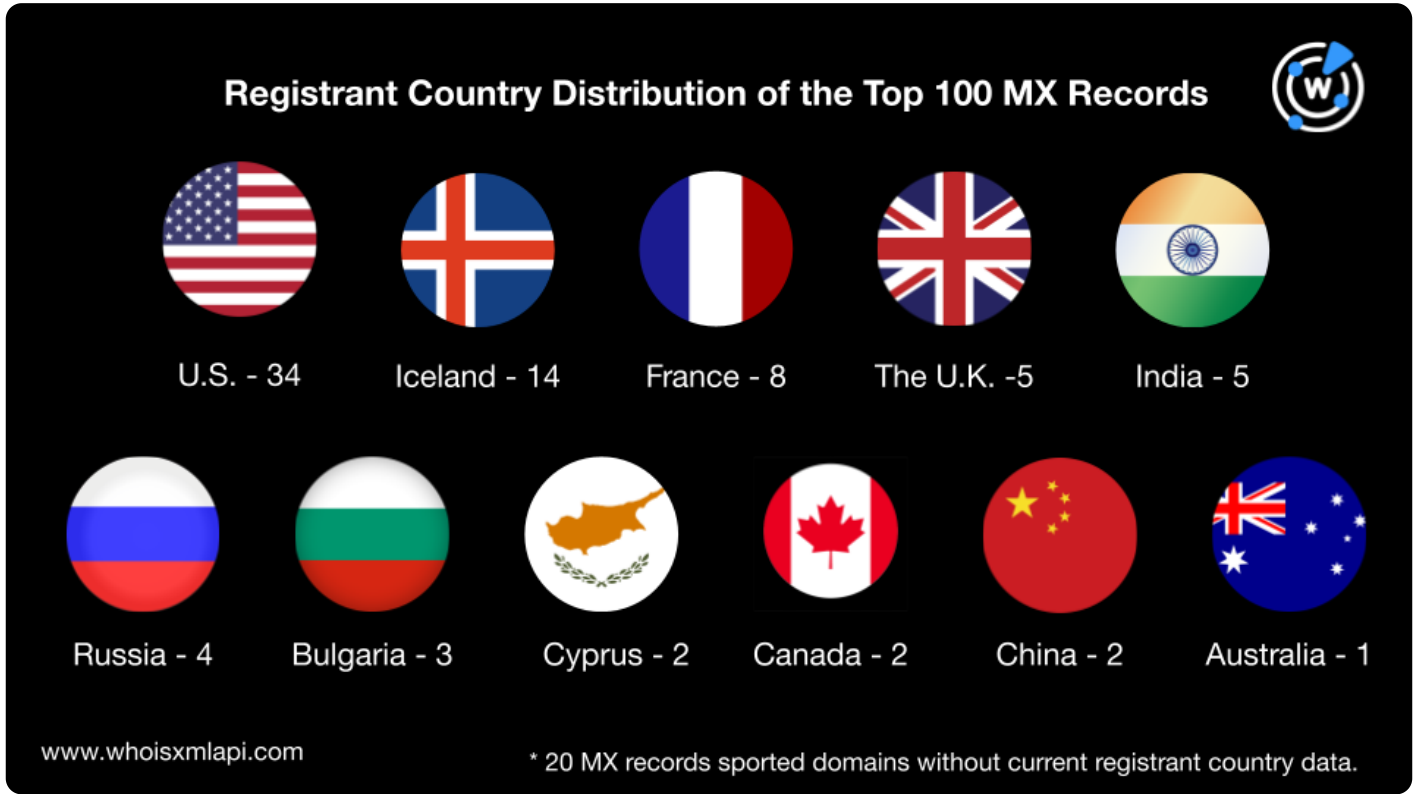
Googleの次にシェアが大きかったGoDaddy Operating Company LLCとAppian Corporationの割合は、それぞれ4.64%（2,920万件超）と3.33%（2,100万超）でした。



MXで最も多く見られた上位100のルートドメインについても調べてみました。その結果、4億4,000万件超LLCとGoDaddy Operating Company LLCがそれぞれ25.91%と2.97%のシェアを占め、FQDNの場合と同様にこの2社がトップ2となっていました。

トップ100のFQDNのうち34件は米国で登録されたドメイン

次に、MXレコード（FQDN）のドメイン名登録者の国に関するデータを分析し、所在地を特定しました。



また、MXレコードのルートドメインのうち33件は米国で登録されたものでした。その他、英国とドイツ

まとめ

今回、MXレコードで最も多く指定されているメールサーバーのWHOISデータを分析することで、メール

????????????????????????????????DNS????????????????????????????????????
????????????????????????????????????